

なは又とダイアローグ

第2回

「那覇の文化芸術」

シンポジウム

パネリスト

知念 覚 那覇市長



崎山 律子 那覇市文化協会会長（映像出演）

小林 純子 沖縄県立芸術大学美術工芸学部教授

山城 知佳子 アーティスト、東京藝術大学美術学部准教授

2022

12/17(土) 14:00-16:00

那覇文化芸術劇場なはーと

1F 小スタジオ

定員 / 80名 参加費 / 無料

申込 / Googleフォーム <https://bit.ly/3XKKdXY>



☎098-861-7810 もしくは

なはーと総合受付にて 10:00-19:00

※那覇市の文化行政またはパネリストへのご意見、ご質問のある方は、お申し込みの際、事前にお伝えください

これからどうする？

2022
-23

なはととダイアログ2022-23

第2回「那覇の文化芸術」★

これからどうする？

2022

12月17日(土) 定員 / 80名 参加費 / 無料

時間 / 14:00-16:00 申込 / Googleフォーム <https://bit.ly/3XKKdXY>

☎098-861-7810、またはなはと総合受付にて(10:00-19:00)



多様で豊かな文化芸術は、那覇市が世界に誇る市民の財産です。文化芸術に求められる役割が時代とともに変化の中で、わたしたちは「那覇の文化芸術」をこれからどのように育て、表現し、社会に位置づけていくことができるでしょうか？文化芸術が、「人々が相互に理解し尊重し合い、多様性を受け入れる心豊かな社会を形成するものとして重要な意義を持つ」(那覇市文化芸術基本条例)とされている一方で、後継者不足や、アーティストと鑑賞者のための環境整備など、課題は尽きません。なはとは、元・久茂地小学校という立地の歴史を踏まえて、劇場が市民の対話と学び合いの場となるよう、「なはととダイアログ」事業を継続しています。今回は、那覇の文化芸術のこれまでを振り返り、これからの可能性を共有することで、那覇のまちに活力を与え、多様性に寛容な社会づくりへの一歩とできれば幸いです。

シンポジウム パネリスト

知念 覚

—那覇市長

崎山 律子

—那覇市文化協会会長(映像出演)



小林 純子

—沖縄県立芸術大学美術工芸学部教授

山城 知佳子

—アーティスト、東京藝術大学美術学部准教授

スタッフ



石垣 綾音 ファシリテーター

「人と土地をつなぎ、コミュニティをエンバウメントする」をモットーに、「こみゅとば」として県内各分野の個人や団体とコミュニティと場づくりに関する活動を行なう。



林立騎 司会

那覇文化芸術劇場なはと企画制作グループ長。訳書にイエリネク「光のない」、レーマン「ポストドラマ演劇はいかに政治的か?」。ドイツの劇場勤務を経て、22年より現職。



高橋 健太郎 記録

写真家。1989年、横浜生まれ。沖縄、東京、北海道を拠点に写真を撮影し作品を制作。第36回写真の町東川賞特別作家賞。写真集に「A RED HAT」(赤々舎)。



中谷 駿悟 記録

シネマトグラファー。1992年、富山県生まれ。沖縄県内にて映画製作・配給を行う(株)ムーリンプロダクション代表。主な撮影作品に「緑の牢獄」など他多数。



福地 リコ 記録

映画作家・ライター。1993年、沖縄県恩納村生まれ。沖縄を拠点に映画制作を行う。監督作に「BOUNDARIES」、「Childhood's end」他。

那覇文化芸術劇場なはと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHArt

沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27 tel.098-861-7810



バス

①若松入口 徒歩約6分 ②松尾一丁目 徒歩約6分
③久茂地公民館前 徒歩約2分 ④松尾 徒歩約6分
⑤沖銀本店前 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください

モノレール

①県庁前駅 徒歩約6分
②美栄橋駅 徒歩約6分

